

# キャンプファイヤー

## 1 活動のねらい

活動をともにした仲間と炎を囲み、自己を見つめ直したり、協力することの大切さを考えたりするふりかえりの機会とします。

## 2 活動の概要

闇を照らす炎の神秘的な灯りの中で、火を迎え・送るセレモニー、炎を囲み演じるスタンツとレクリエーションをとおり、参加者の仲間意識を深め、感動と思い出を刻む活動です。

## 3 人数(場所)・時間

- (1) 人数(場所) 200名程度(A 営火場：電源あり)  
100名程度(B 営火場：電源なし)  
50名程度(C・D 営火場：電源あり)  
※C 営火場：ソフトボールグラウンド  
※D 営火場：グラウンド
- (2) 期間 5月～10月
- (3) 時間 1時間～2時間程度(18:30～20:30頃まで)



## 4 指導の依頼について

希望する団体は、進行・レクリエーションの指導を依頼することができます。依頼を希望する場合は、利用申込書と一緒に「指導依頼申込書」(ホームページ上に掲載)を提出してください。

指導料は、講師1名につき7,700円(1時間30分)です。活動終了後に現金、コンビニ支払い又は銀行振り込みのいずれかで支払いをしてください。

## 5 準備する物

区分	内容	備考
団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>薪, マッチ, トーチ</li> <li>懐中電灯</li> <li>営火長の衣装</li> <li>音楽CD等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>薪セットは売店で購入可</li> </ul>
貸出できるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>放送機器(CDプレーヤー, マイク等)</li> <li>延長コード</li> <li>貸し出し用営火長の衣装(4セットまであります。)</li> </ul>	

### 【薪セット料金】

種類	内容	人数	金額
キャンプファイヤー 大セット	<ul style="list-style-type: none"> <li>丸太20本(長さ90cm程度)</li> <li>薪3束</li> <li>灯油1㍗</li> <li>2時間程度の活動向け</li> </ul>	100名以上	5,750円
キャンプファイヤー 中セット	<ul style="list-style-type: none"> <li>丸太16本(長さ90cm程度)</li> <li>薪2束</li> <li>灯油1㍗</li> <li>1時間～1.5時間程度の活動向け</li> </ul>	100名以下	4,740円
たき火セット (灯油はつきません)	<ul style="list-style-type: none"> <li>たきつけ薪1束</li> <li>小割薪2束</li> </ul>	小グループ (10名程度)	1,380円

## 6 引率者の役割分担

項 目	内 容
健康観察	参加者の健康状態を把握する。
安全対策	火の取り扱い，後片付けに注意を喚起する。
事故発生時の対処	けがや事故が発生した場合は，直ちに事務室に連絡する。

## 7 活動の流れ

活動の流れ		内 容	備 考
事前	指導依頼	・「指導依頼申込書」（指導依頼の場合）	・利用申込書と一緒に提出
当日	会場準備	・営火場に業者が薪を搬入する。 ・自分たちで薪を井桁に組み上げる。 ・火床から5m以上離れた場所に丸太イスを置いて座席を設置する。（C, D営火場） ・放送機器等を，事務室で借りる。	
	活動実施	・営火（儀式，レクリエーション等）	
	活動の終了	・営火場の消火(水をかけ消火)を確認する。 ・事務室に終了した旨を連絡する。 ・借用物品を返却する。	
翌日	後 始 末	・朝の清掃時，残り火の完全消火を確認する。 ・灰と燃え残りは，土のう袋に入れて灯油の空容器と一緒に <u>指定の場所に運ぶ。〔8(9)に記載〕</u> ・終了後，事務室に連絡する。	・土のう袋は受付時に受け取る。 ・薪持込の場合，燃え残り等は，団体が持ち帰る。

## 8 実施上の留意点

- (1) 周辺には外灯が少ないので暗闇で転んでケガ（コンクリートのイスに顔を強打する等）をする可能性があります。実施前後は参加者に注意を呼びかけてください。
- (2) 薪を濡らしてしまうと返品できません。実施の判断に迷う天候の場合は，事前に薪を組まず，実施の直前に組むことをお勧めします。
- (3) 薪を注文している場合は，夕方までに各営火場のそばに設置してある薪置き場に薪を用意しますので，団体で準備を行ってください。
- (4) 雨などで薪を濡らすことのないよう，実施直前に薪を組み上げるようにしてください。（荒天で中止の場合，薪は水に濡れていない・火をつけていない・灯油をかけていない状態での場合は返品可能です。）
- (5) 風向きを考え，火災ややけど等に注意してください。
- (6) 薪は，出来る限り灰になるまで燃やしきるようお願いします。
- (7) 燃え残りが出た場合は，水をかけて完全に消火したことを確認してください。
- (8) 薪の燃え残りを入れる袋（土のう袋）は，受付時に事務室で受け取ってください。
- (9) 次の日の朝，燃え残りを土のう袋に入れて，下記の場所に置いてください。

### 【 土のう袋置き場 】

- A 営火場・・・A 営火場わきのドラム缶のとなり。
- B 営火場・・・B 営火場わきの薪置き場近く。
- C 営火場・・・ソフトボール場倉庫のわき。
- D 営火場・・・グラウンドトイレのわき。